

第6学年 嵯峨立タイム指導案

指導者 小松英明

1 題材名 「自分の夢を調べよう」

2 活動の計画にあたって

(1) 単元設定の理由

総合的な学習の時間のねらいとして「自己の生き方を考えることができるようにすること。」が挙げられている。「自己の生き方を考える」ことは、昨今の学級崩壊や「生きる力の欠如」、学習意欲の低下や学力低下等の現象から求められたものである。これらの原因の1つとして、何のために学ぶのか、何を目標に学び続けるのかを見つけられない子どもの姿を指摘できるだろう。誰しも目標がはっきりしないままに努力を積み重ねていくことは困難である。人生の目標を意識的に想定させることにより、学習が目的的となり、生きる力を自らの意志で自らに付けていくのではないだろうか。

将来の目標として児童が意識しやすいのは、将来就業したい職業である。児童は、職業に関して各々が夢を持っている。しかし、へき地小規模校ということもあり、身近に該当する職業がなく、その職業に就くために必要な能力や資格などについての知識を得る機会が少ない。

そこで、就業したい職業について調べる活動を通して、自己の生き方について考えさせたいと思い、本単元を設定した。

(2) 本単元を通して育てたい資質や能力

夢の職業に関する知識及び現在付けておくべき能力に対する理解

調べ活動を通して、夢の職業に就くために必要な資格や能力について理解させるとともに、夢の職業に就くために小学校の段階において身につけておくべき能力について考えさせたい。また、小学校の段階において身につけておくべき能力を自ら養おうとする意欲を育てたい。

課題を解決する方法を適切に選択する力

職業調べと言っても、調べる職業、調べる内容によって、解決する方法を適切に選択しなければ、解決には至らない。課題に応じて、適切な手段を選択する力を養いたい。

調べた内容をわかりやすく編集する力

調べる活動を通して得た知識をわかりやすくまとめることは、知識の構造化にもつながる。論理的にまとめていける力を養いたい。

調べた内容をわかりやすく表現する力

児童は、身内でのコミュニケーションは上手にできるが、文脈を共有しない者に対するコミュニケーションに強い苦手意識を持っている。そこで、調べた内容について、受け手の状況を考えながら表現する体験を通し、表現力及び円滑なコミュニケーションを行える能力を養いたい。

(3) 学校目標との関連

学校教育目標

認め合い、高め合う、心豊かな子ども

課題について調べる活動や調べたことを編集、処理する活動では、自発的に相談したり解決の方法を教え合ったりしている。発表する活動では、お互いに意見や感想を述べさせる場を意識的に設定している。それらの場を意識的に設定し、働きかけることにより、お互いの良さを認め合ったり、高め合う契機となると考える。

(4) 研究テーマとの関連

発信し合いながら学ぶ楽しさを味わう子どもの育成

生き生きと活動する生活科・総合的な学習の時間を通して

学習活動の成果を学校のホームページ上に公開し、意見をもらえるように電子掲示板を用意する予

定である。電子掲示板への書き込みは、子どもたちと文脈を共有しない者からの書き込みである。情報を発信し、それに対する反応は、子どもにとって有意義なコミュニケーションになると考える。

3 単元のねらい

就業したい職業について何について調べるかを明確にすることができる。

就業したい職業について適切な手段を用いて調べることができる。

調べた内容について分かりやすくまとめることができる。

調べた内容を分かりやすく発表することができる。

掲示板に書かれた意見を受け止め、自分なりの意見を書き込むことができる。

4 学習計画（20 時間扱い） 本時 8～12/20

	活動名	時数	主な学習内容
第一次	夢の職業	10	将来の夢の職業を明確に意識する。 夢の職業の何について調べるかを明らかにする。 Ex. 資格が必要か、どんな学歴が必要か等 調べ活動に取り組む ブレ発表会を行い、課題や問題点を明確にする。
第二次	調べたことを整理しよう	5	調べたことを整理する。 調べたことからわかったことをまとめる。
第三次	調べたことを伝えよう	2	調べたことをクラスを相手にプレゼンテーションする。 学校のホームページに載せられるようにHTML ファイルにする。 学校のホームページで調べた結果を公開する。
第四次	発表を振り返ろう	3	電子掲示板を利用して、質問や意見に回答する。 自分の発表を評価する。

時数の区切りは緩やかにとらえ、個人の進捗状況に応じる。

5 本時の学習

(1) 題材名「夢の職業について調べよう」

(2) ねらい

自分の調べたい内容について目的的に調べる。

調べる内容に応じて適切なメディアを使って調べ活動に取り組む。

調べた内容を整理しながらまとめる。

(3) 準備物

ネットワークに接続されたコンピュータ、液晶プロジェクタ、学習カード

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	支 援 と 評 価 (は評価)
つかむ	1 自分の目当てを確認する。	本時の予定を記入するカードを利用して本時の目当てを確認する。
取り組む / 表現する	<p>2 それぞれの活動を行う。</p> <p>MI 栄養士 インターネット上から情報を収集していたが、あまり情報がないと言っている。東和町の給食センターの栄養士さんに手紙を書いたらいいのではと提案、手紙を作成中。</p> <p>MI 漫画家 自分が以前から購入している漫画家養成の雑誌などを手がかかりに情報を収集している。水疱瘡による出席停止で、皆より作業が遅れており、個別の支援が必要である。</p> <p>NO ゲームクリエイター 雑誌とインターネットで情報を収集していた。実際のゲームクリエイターに連絡を取りたいと言うことでメールアドレスを探していたが見つからず、ゲームを作っている会社にEmailを出そうとして作成中。</p> <p>TK ゲームクリエイター 雑誌とインターネットを利用して情報を収集中、課題についての情報は収集済みと話しているが、まだ掘り下げが足りないように思える。</p> <p>MT 声優 雑誌を中心に情報を収集中。実際の声優に話を聞きたいと雑誌から手紙を出そうとしていたが見つけれずにいる。声優の所属するプロダクションに手紙を書いてみるように指導、手紙を作成中。</p> <p>KT 長距離トラックの運転手 長距離トラックの運転手という課題を設定する前に運送業という広い課題を設定して時間をかなり使ってしまった。トラックの運転手をしていた経験のある近所の人から取材するために取材用のアンケート用紙を作成中。</p> <p>ST 水中調査士(?) 「海の底で調べる職業に就きたい」という課題設定で、ダイバーの資格について調べる作業に時間を費やしていた。ダイバーの資格と就業したい職業では違うのではないかと話し、本人も納得し調査対象を絞って調べている。</p> <p>HC トリマー インターネットを中心に情報を収集していたが、思い通りの情報を得られずにいた。ペットショップに直接電話、あるいは手紙を書いて答えてもらった方が情報収集がしやすいのではと提案し、現在、ペットショップに問い合わせる内容を検討中。</p> <p>それぞれの課題に迫る適切な情報手段を選択できるように支援する。 手紙や電話、アンケート用紙を作成する場合は、その内容について一緒に吟味する。 まとめる段階にはいるときには、発表の段階で使うメディアを意識してまとめるように指導する。 調べたい内容を目的的に調べることができたか。(発表、作業内容) 適切なメディアを活用して調べ活動に取り組むことができたか。(発表、作業内容) 整理しながらまとめることができたか。(作業内容)</p>	
広げる	3 今日の学習の進捗状況を発表し合う。	<p>短い時間で発表できるようにまとめて話すようにさせる。</p> <p>それぞれの発表の中から他の人に参考になる情報収集手段やまとめ方は、皆が意識できるように意識的に取り上げて指導する。</p>

(5) 座席表

KT			MI			NO			H.C		
<p>関心が高く意欲的に調べているが、掘り下げが足りない。まとめ方にも工夫がほしい。</p>			<p>インターネットを活用して情報収集しているが、大量な情報を整理できずに課題とずれたことを調べてしまい時間をとっている。課題と情報手段の整合性を考えさせたい。</p>			<p>地道に調べ活動に取り組んでいるが、掘り下げが足りない。まとめ方にも工夫がほしい。しかし、情報収集手段の多様性に欠け、課題を解決できずにいる。</p>			<p>課題が明確になっていない。情報収集に取り組んでいるが、課題を明確にすることの必要性を理解させたい。</p>		
<p>地道に調べ活動に取り組んでいるが、掘り下げが足りない。まとめ方にも工夫がほしい。</p>			<p>インターネットを活用して情報収集しているが、大量な情報を整理できずに課題とずれたことを調べてしまい時間をとっている。課題と情報手段の整合性を考えさせたい。</p>			<p>地道に調べ活動に取り組んでいるが、掘り下げが足りない。まとめ方にも工夫がほしい。しかし、情報収集手段の多様性に欠け、課題を解決できずにいる。</p>			<p>課題が明確になっていない。情報収集に取り組んでいるが、課題を明確にすることの必要性を理解させたい。</p>		
<p>地道に調べ活動に取り組んでいるが、掘り下げが足りない。まとめ方にも工夫がほしい。</p>			<p>インターネットを活用して情報収集しているが、大量な情報を整理できずに課題とずれたことを調べてしまい時間をとっている。課題と情報手段の整合性を考えさせたい。</p>			<p>地道に調べ活動に取り組んでいるが、掘り下げが足りない。まとめ方にも工夫がほしい。しかし、情報収集手段の多様性に欠け、課題を解決できずにいる。</p>			<p>課題が明確になっていない。情報収集に取り組んでいるが、課題を明確にすることの必要性を理解させたい。</p>		

凡例

イニシャル	関心・意欲	読みとりの能力
・調べ活動に対して		

自分の夢についての調査計画

名前 ()

調べる職業

調べる内容と調査方法

調べる内容	調査方法

名前

職業名

段階	内容	自分の計画	終了月日
調べる	調べる項目をきめる それぞれを調べる方法を決める 実際に調べる	項目決定	
		項目 1	
		項目 2	
		項目 3	
		項目 4	
まとめる	どの方法でまとめるかを定める 実際にまとめる	方法決定	
		作業	
発表する	発表の時のメディアを決める 発表の資料を作る 発表する	メディア決定	
		資料作成	
		発表	
返振り	掲示板への書き込みを読む 掲示板の書き込みへ書き込む		
